



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

この言話を聞く前は、こんなことはあ  
まり、気にしていなくて、ものすごく  
こわいのではないかと、つうにこわい  
思、ていただけだけれど、原爆先生  
の言話を聞いてみると、ちやうや聞き終  
わ、たあとには、ものすごくつらくて、こわい  
ことが分かった。どういふところがこわ  
かったかという、ばくだんが落ちて、  
ばくはっしたしゃんかん、人間は、一瞬  
ですみになっ、てしまふこと、です。あと、ば  
くはっして、生きていた人も、ぜんしんがボ  
ロボロで、手をつかもうとしても、かあがす  
るとはがれて、しまふことが、そうぞうし  
ただけ、です。ものすごくこわかった。ぼくはこの  
言話を聞いて、この先、まったくこわさをし  
ないで、バカにしたりして、る人がいた。そ  
のこわさを云えたいです。あと、将来、みん  
なに、その時、のこわさをみんなに伝  
えて、たい、と思った。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、今日の授業を受けてみて、広島におちた原爆は、とても、  
 すこいものだったと、わかりました！ まえに、クラスでやったときは、  
 「あ、おちたんだ〜」「たいへん〜」「ういた〜」と、17才で戦争に行った、  
 おとあせんの事をよく知っている、<sup>戦</sup>話を聞くと、すこく、こいものだった  
 んだ。死者やまぼく者がすこく多くて、5人に2人に死んで  
 しまっているとき、とてもすこい原爆だったと、しっかりと、じかん  
 することができました。1番しょうけきを受けたのは、原爆が、おちて  
 くるか、たたんたり骨や赤い肉が、みえたりあるとき、たときです。  
 「それほど、すこい事が、おきたんだな」とおもいました。その原爆が、あつ  
 かり、原爆ドームが、できたのかなと思ひます。あと、1番京都が、お  
 されたのに、広島にたつたのか、しょうけきまでしてました。  
 私は、この授業を受けて、原爆のまようぶ、まじりました。熱線、しょうけき波  
 放射線のつづである、熱せんは、太陽よりも熱くて、人間にあたると、まぶか  
 ほかえおちて、赤い肉も骨までとつりつくと、うしろのかがあるのに、ど  
 りしました。 私は、この戦争があつたからと、このあとの未来は、  
 私たちが、つくるということ、まぶかにまじりて、日々をまくりたいと思ひます。  
 こういふことをまづかかせてくれたり、つづかにまよへてくれたり  
 ありがとうをいひました。

一番びっくり  
 二番びっくり  
 三番びっくり  
 このあとの未来は、私たちがつくる。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の授業を受講してとても衝撃を受けました。私は家に帰って原爆先生のお話しをふり返っていても涙がとまらないほど、ショックと衝撃、こわさを感じました。ですがそれがたまたま72年前の事だと思えば複雑で不思議な気持ちになります。社会で戦争の勉強をした時はここまで深く感情を持ったことはなかったけれど、改めてふり返ってみると、こんなにひどい物で、悲しい物で、二度とやっちゃいけない事だと感じました。ですが今の世界の現状としては技術も発展し、戦争をやろうと思えば、簡単にできてしまう世の中になってしまっています。原爆先生の様に戦争、原爆のつらさを伝える活動は簡単なものではないと思います。つらい事を思い出さなければいけない、そして伝えなければならぬ、でもそれを続けていかなければ、いつしか戦争をしていく世界になっていき、今の幸せな時間、豊かな暮らしはうばわれていきます。今まで目をそむけ他人事にしてきたことを今度は私たちが受けついでいかなければならない、未来に伝えていかなければならない、そう強く感じました。「戦争をしてはいけない」、「原爆をつくってはならない」、ふたたび聞き流してしまいそうなこの言葉にはどんな思いがこもっているのか、なんの意味があるのか、今日授業を受けて改めて感じる事ができました。これから先ずっと平和を守り続け、「戦争」、「原爆」について伝えていかなければいけない、そう強く感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

ぼくは原爆先生の特別授業を受講して、  
原爆のおそろしさなどにもっと知れてよか  
ったと思います。

とくに心に残ったものは原爆でひがいを受けた  
人との事です。

原爆で人がたくさん死んだりして、その時の人たちの  
気持ちの方が前よりこの受講で分かったので、さらに  
ちょっとおくなりました。

もうこういう事があつてほしくないのど、もう戦争  
はおきてほしくないと思います。

今日は九小に来てくださって、ありがとうございます。  
した。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆のおそろしさをあらためて矢張り、命のたいせつさ、  
原爆のおそろしさをわすれないうちに二度と原爆がやがてい  
木葉をアからてほしくないと思いましたが、今北朝鮮がミサ  
イルがやがていきで実演をしているので、もう実演はしてほ  
しくないし、作てほしくないなと思いましたが。

広島に投下された原爆「リトルボーイ」につまねたウランが  
60kgもつまねていたのになぜ1kgのウランしかもえな  
かったのは不思議に思いました。しかし60kgつだ  
ウランすべてもえてしまったら広島市はもちろん、広島市い  
が「いもひが」をうけていたかもしれせん、なので  
二度と原爆がやがていきをつかぬいつくならな  
いでほしいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆のことについてあまり知りませんでした。でも、今回池田先生の授業を受けていろいろなことを知ることができました。授業の中で話を聞いておどろいたことがたくさんあります。ビデオだったり、池田義三さんが体験した時の様子を池田先生の口から聞いたことで、戦争や原爆のおそろしさを知りました。けれど、そのこととともに、人間のおそろしさも私は感じました。原爆については、ウラニウム1kgのはかい方や、被害のつよさが思っていたよりもずっと本当におどろきました。体の水分を一瞬にして蒸発させたり、すべてのものをとがす熱線、あらゆる建物や道路をガラガラにくだいてしまう衝撃波。ビデオを見ているとあっという間もなく、建物や人が黒いけむりにのみこまれていくのを見て、言葉ができません。つよいのは原爆だけでなく、その被害もです。死亡率が40%で、5人に2人が亡くなるなんて信じられないことだと思います。また、戦争をひきおこしたくさんの人の命をうばい、あつ人間もこわいなと思いました。そして、私が一番おどろいたのは池田義三さんが原爆資料館をおとすれ、つよい言葉です。私は一度資料館に行つて戦争の様子をくわしく知りたいたいと思つてはいたけれど、実際の様子はやはり体験者ではないとわからないんだなと思つてました。なので、今回の授業はすごく貴重な時間でした。私たちのために来てくださりありがとうございます。原爆で尊い命を失われた人のめいひを祈つています。それから、私も戦争のおそろしさ、平和であることの大切さを伝えていきたいと思つてました。

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、この授業をとうして原子爆弾は本当ですまじい物で、もう二度と絶対に使ってはならない物だなと思いました。

今日の話して心に残ったことは、原子爆弾の熱さが太陽よりも熱い7000℃だということ。しかも熱線 衝撃放射線でもすごく大きな被害があるということも今日の話してしりました。心に残ったことの二つ目は人間が焼けこげ、ふきとび、骨だけになったり人間にもとても残るこく大な被害あたえたということです。それを命令ゆうせんてただただえこも通かあるしかなかった兵士の人の思いは、絶対に理解できる物ではないと思います。また、原子爆弾でせなた方、戦争でせなた方かいたからこと、今の自分かいて豊かに暮らせているんだと思います。今日は、いろんなことが学べた一日だったと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

2/15

私は、今日、生まれて初めて原はくが、どれだけのものだったかを矢口しました。私は前から戦争については、本を読んだり、人から少し聞いたりして、知ってるつもりでしたが、今回の授業で、自分の戦争への知識の未熟さをその場で感じました。でも、その原はくの一千倍のものを今も世界に、いくつもあると聞き、人はなぜそんな考えをするのだろうかと人々に文に対するき問もあふれました。また当時の人々の気持ちを考えると、本当に本当に心がしめつけられ、とても痛かったのに、つらかったのに、たえた人もたくさんいて、ふたぶん自分が痛いと思っいることがとてもとても小さく見えて、当時の人たちのことを考えると、自分のふたぶん感じる痛みも少しはかまんしてのりにえていきたいと思ったほどです。でも、広島資料館のものを義三さんは「きれいすぎる」と言っていたらしく、本物はやはり想像が行き渡らないことはわかりです。でも、本当におんほうした量のウランは、1kg(ゴルフボールくらい)で、つめこんでいた60kgが全てはく発してしまっていたら...と考えるととてもこわいです。中には残こくて、激しいきょうふを覚える表現もありましたが、それが現実、体験した方もいる。なのでこのことは唯一の被国の日本国民として、これから生まれてくる人たちにも、しっかり現実を伝えていきたいです。





原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

感想

僕は今日、原爆先生の話を聞くまで、原爆のことを知  
 っているつもりだったけど、今日原爆先生の話を聞  
 いて原爆の本当の恐ろしさを知りました。  
 一番心に残っているのは原爆先生のお父さんの  
 班長が遺体のそばさくに行っていた時のお話です。  
 最初ドラム缶がつんである所からトラックで原爆の爆心まで  
 に行くまでのお話です。目的地向く途中、被爆者  
 が次々とひたひたに向かっている、という所です。黒くコケ  
 ただれたひたひた、トラックに乗ろうとしている人々をひき上げよ  
 うとしても肉がはかえおちてしまったり、聞いているだけで  
 そろそろ死んでいく、原爆の被害者はそれよりもひどいやけい  
 目にしていました。川から遺体を上げるという作業を聞いて  
 何回もはいてはいたりして川からひき上げかきさらすというの  
 も死んでたばかりの遺体をかいてはいてもどって取りかえし  
 そのにおいに耐えられない、その作業をくり返しては  
 いやになると思います。いくら命令でもやめな  
 いとおもう、でも熱くて川で飛びこんだ人々が死んでしま  
 うくらいの高熱があたり全体に伝わり、かくのよ  
 うな世界で死にたいくらいのおどろきやけい  
 をあつてしまうのは、すくつかいものなので、僕が大人にな  
 っても原爆の事を忘れずに子孫孫にあそろしさを伝え、二度と原爆  
 を使わないことを

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)

絶対に守りどこのどんな場所でも使われないか  
 と思い、



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の授業を受けて、おとろいたことか、3つあります。1つ目は、原爆の投下都市に条件があったことです。無条件に落とされているのかと思っていたし、そもそも都市のことまで考えたことかなかったからです。アメリカは文化財や空襲を考へて京都や東京に落とさなかつたけど、もし落としていたらと思うとゾッとします。2つ目はその威力です。熱線では、約7000℃くらいあり、太陽よりも高く衝け、き波ではコンクリートや鉄も木と同じように軽くふきとばさず、放射能は今も原爆から約70年たったのに原爆症に苦しんでいる人がいること、改めて原爆の恐しさを知りました。3つ目は、池田義三さんの、広島博物館での、被ばくした人の様子を表した人形を見た時の「キレイすぎる」という言葉です。あの人形も、義三さんの手記の話と同じところがあつたのに、キレイすぎる...言葉で言い表わせないような現場たつたのたなと思いました。私は今日、前よりも、原爆の力の強大さと、それを世界中の国がもっていること、の怖さを改めて知りました。これをできるか、きり広めていきたいと思っています。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

けんぱく先生の特殊な授業を受けてゴルフボール1個分のウランの<sup>じゆこう</sup>りょうで野を一つおぼしてしまふとやうな事をしました。  
 原子火暴弓単がまたおとされたらまたおそろしいことになるからもうおとししてほしくないのよ、ウランなども二度とかいはつしないでほしいです。けんぱくのえいきょうでいろいろな人がしんでしまってきたのでもうけんぱくを二度とつかあないでほしいです。ぼくは、けんぱく先生の言葉をきいて、このようなおそろしいことがおきたというはなしをきいておそろしいなとおもいました。けんぱく先生



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

最初の一時間の話はとてもつらく大変で苦しみ  
でしかない事でこういうのは本で少し読んだっ  
たことか"ありましたけど、た"からと言っていいも  
のでなく本当にものすごく悲しい出来事だった  
と改めて実感しました。そして広島に投下  
された原子爆弾は4t.やっほりとても重い  
なあと思いました。でも60kgの物がたった1kg  
火燃えただけであのように撃はありえませんが、熱  
は太陽をはるかに超えています。その何千倍もの力  
の原子爆弾が世界に約1万五千個もあるという  
事実にとっても悲しくなりました。投下後の雲っ  
まりその力が"とても強かったと"とくに感じたのは  
成層圏まで上がり、そこで上が"平らになる  
程だった事です。こんなのがあ"ってはいけないの  
になぜ人は原子爆弾を作り、また"数回ですが"  
それを使い、その何千倍の力の原子爆弾を  
約1万5千も所有しているのに絶望感があ  
る程です。でも原子爆弾を投下する時、京都に  
投下をおざと謝らめたのた"から、本当は昔から国と

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)

国で仲良くできていた、そして多くの命が"救われていたと思  
います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回の授業で原爆のおそろしさを少しでも知ることができました。被爆した人の様子は助けを求めたり、どんな姿が目にかびました。体験した人じゃないとは、きりと分からないかもしれませんが、被爆で死んでしまった人達は未来をたくしている人もいます。一回の爆撃で多くの方が亡くなります。その多くの人達の命をおたにしないために、何か自分にでもできることをしたいです。私が助けを求められてもこわくて何もできずにたがえてしまうと思います。でも、その人を救える可能性はなくなってしまう。そんな時に助けられるのは、すごいなと思いました。今となっては考えられないことばかりで、原爆の事を知らない人もいます。だから私が言っても伝わるのか分からないけど、原爆の事を教えたいです。そして今回の授業をして原爆の時の事などを教えてもらい本当に良かったです。そしていつまでも忘れずにいたいなと思いました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は原爆のことやその被害にあった人たちのことをいろいろ知りましたが話を聞いてるうちに先生が言っていたように悲しみや苦しみはそのできごとを体験した人たちにしか分からないものだと思います。ほつは少し前に国語で広島原爆ドームの勉強をしましたが今日聞いた話ではさらに詳しく話をしてくれてくれました。このほかにも体験した人の話がたくさんあると思います。ほつたちは体験していないので先生がやっている本を書いて人に何がを伝えようとするのはいいと思いました。

今核問題があまりもし核爆弾が日本に落とされることになったら大変です。過去2回も核爆弾が落とされたことがある日本は唯一の被爆国であり日本だけが核兵器をなくすことのできる唯一の国だと再び思いました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今日、原爆の授業を受け、いままで知らなかったことをくわしく知り、そして原爆のこわさを改めて感じました。

原爆について私はテレビや国語の授業で知る機械があり、「こわい」というだけしかそこからは感じませんでした。

今日の授業ではいままで感じたことのない、しょうけきと、こわさで胸が、いっはい、いっはいになりました。

作り話ながら「こわいなあ」ということだけで終わらせることができるけど、事実ということがまたしょうけきの、口では言い表せられない、そんな複雑な感情がありました。

資料を見るといまではありえない大きさの原爆の写真や数じがの、こいて改めて原爆、戦争があり、多くの被害をおよぼしたんだと分かりました。

私は資料を読み昔の技術が今の技術のように進歩していなくてよかったと思いました。もし進歩していたらもっと大きな被害を日本にあたえていたと思うとゾッ、としました。

いままで私たちの暮らしてきた時代は戦争や争いごとのない平和な時代でした。しかし人々の戦争を二度としないという気持ちが続けていかなければならないと思いました。

私たちが次の世代にこの思いをつなげていきたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回の原爆先生の特別授業を受講して、始め、私は、この特別授業を受講する前は、ここまで、残酷だとは思っていませんでした。最初に話してくださった、原爆をとうかした所、私は、だんだん酷くなっていく、やけどなど聞いて、いるだけで、鳥肌が立ち、私が想像していた物より、もっとも、と上でした。次の川のお話では、原爆で亡くなった人たちの死体を、運ぶ、という所では、人のにおいなどに慣れる、という点では、私も、人の慣れというのは、恐しいなととても思いました。その次では、資料を使いわかりやすく、教えてくださいました。原爆の温度が真中、100万、表面の温度7000°で、太陽のは、6000°で、それより熱いという所にもおどろきました。その温度は、人が炭になってしまうほどで、とても怖いなと思いました。最後の池田義三さんの話を聞いて、館にある物より、も、痛々しく、という所が、とても心に残りました。





原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は今回の特別授業を受けて心に残ったのは、人間が人間じゃなくなっていた所です。ひろがはかかれていた、焼けている所が一番、ショックで、心に残りました。そして、記念館でのひろがはかかれた女性の人形の写真を見ただけで、きろくバが出ましたが、話にありましたが、実際に見た者しか、分からない心に残ると言っていました。自分達は実際いなかたから、本当の気持ち、きろく、は分からないけど、戦争のこわさや、体験した話を聞いて、これから自分が大人になっていくと、実際体験しても減ってきているから、今日の授業で、9小の6年は戦争のこわさを知ったので、これからずっと平和でいれるように、大人になったら、みんなに伝えたいです。最近、北朝鮮問題があるから、絶対戦争はやめてほしいです。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

自分はあまり原子爆弾のことは知らなかったけど、  
原爆先生の話を聞いて、もっと知りたいと思ったこと  
がたくさんありました。話の中で、親子があるいてい  
ると、いっしょんでガラガラになったことや、会社とか  
あくのもまっていた人が爆発によって、消えてしまっ、黒  
いシミが残った話は、衝撃でした。爆発をして、人が  
いっしょんで亡くなるのは、本当にあるのかなと思ったけど、  
あらためて、怖さを知りました。また、実際に体験した  
方の手紙や話を聞いて、9日間も悲しい思いをするの  
は、大変だと思っ、いっしょんで。死体を見るのも、死体の  
においもなれるのは、どれだけのたくさんの亡くなる  
た人の死体を運んでいけるか、想像がつかまし  
た。原爆で亡くなった人は14万人、そのうち2万人  
は、爆発して、いっしょんで亡くなった人もいる。  
今でも、けんぼくしょうで、苦しむ人、亡なる  
人が多い。今日、原爆先生の特別授業を  
うけて、戦争の怖さ、つらさをしっかりと理解  
できた。二度とこんなことは、あきてはしく  
ないと思っました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今日の授業を受けて、正直とてモゾッとしました。及ぶかたまたましているなどと聞いた時は、頭の中が真白になりました。その後も話を聞いていく内にその戦争当時や原爆のことを詳しく知ってただただ驚いていました。まず、爆破して、軍から死体を処理しろと命令され、その時の話を聞いていた時は、なんともあえない気持ちになりました。そんなことはしたくないけれど、やめてあげないと被爆した人がくさっていく... そんな感情の中であっていたのかと考えながら聞いていました。次に原子爆弾の恐しさについてです。原子爆弾は爆破した時に球体のようになって、その外側の温度が7000℃。太陽の表面温度は6000℃。それよりも熱い温度は、想像できませんでした。でもとてモゾッとしました。

爆心地はかげかできず、一瞬で消えてしまったりビルの前でまっていたらくろいかげのみになてしまったりと、とてモゾッと怖いものたても学ぶことができました。

次にウランが1kgおんしょうしただけで広島市<sup>が</sup>はかいされてしまて60kgの内1kgということはお60kgおんしょうしたらどうなてしまったのかと考えるてしまいました。当時の恐しさは体験者にしか分からないけれど、原爆の恐しさを学ぶことができた



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

今日、この話を聞くまで、私は社会科見学で照和館を訪れたり、国語の「平和のとりこを築く」を学習した時に、広島、長崎におとされた原爆のことはある程度分かっていったつもりでした。でも、先生のお話を聞いたり、テレビを見たりして、私が想像していたよりも原爆の被害はとて大きく、「こゝまでとは」と胸が痛みました。

私がおどろいたのは、原爆の温度です。爆発の中心が100万ともあり、表面が7000℃もあることです。太陽は6000℃なので、太陽が接近してきた太陽に手をふれているよりも熱いので、本当に「痛い」「怖い」「暑い」などと感じる間もなく焼け死ぬか、しゅう撃波で死ぬかだったのでしょう。たまたまで人や建物まで消滅させてしまう原子爆弾の力には、ぞっとしました。

人が人を傷つけるために、こんなおそろしい物まで作り、たがいに傷つけ合っていた時代があったのには、「なぜ対立してしまうのだろう。自分の意見に従ってほしいのは分かるけれど、それをまでしないといけないのだろうか。」と感じました。色々な人が「核兵器の放棄」をうたえていますが、それは私も大切なことだと思うし、核兵器はあってはならないものだと思うけれど、最もこわいのは、頭が良く、造ろうと思えば造れる人間の心ではないかと感じました。みんな1人1人が互いに認め、たまにはやり合って暮らしていくことがこの先の世の中で必要なことなのかなと今日の授業で思いました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は授業を受けて原爆のおそろしさあらためて知りました。原子爆弾については社会の授業でもしているなんとなく分かったつもりになったのだと思いました。原爆があとさ本たあと7000℃という高温にまつまれたと聞いたとき想像がつかない。たけど太陽よりあついと聞くとゾッとしました。私はこの授業を受ける前までは爆げきや熱で人々は亡くなっていたと聞いていたけど、衝撃波ではこまてしまうということをはじめて知りました。原爆リトルボーイに入っていたウラン、60kgの内、1kgでたったゴルフボールほどのしかなかったが広島や長崎をまんな風にしてしまったということ。60kgがすべてつかわれたらと感えたとき日本はもうおしまいことになっていたと思いました。私が一番しうげきをうけたのは逃げようとする人々の話でした。あついと思ひまさえもなくたえ、生きのびた人も、もうさこいやけどをおい自分のひふ、とひふがふれないようにしてあひたりへいたいに助けを求めたり生きのびた人はすごくつらい思いをしていまだに現在原爆のせいで苦しむ人がいるということを知ったけれど、この話を聞くと想像が表現できないほどのつらい思いをしたと思ひました。人間のようなもの、男女のくやっがつかない人、それでも助けたいと思ひ人の本能、でも助けられないもどか(さ、ただただ助けたい)が、聞かなくていい、聞かなくていい、なんともなきそうになりました。一番最後の映どうを見たとき、自分がたいけん

したおそろしさはわすれられなくて、とちがいないとしま。たとき、私は胸がいたくなりな  
きそうになっていました。日本は唯一の被爆国として原爆を世界にうつたえていか  
ない本はいけなうと思ひました。そのために日本の人は原爆のそんざいさあう本とほいけな  
うと思ひました。

6-1

伊藤 菊菜



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

今回は「広島原爆投下」について原爆先生から教わりました。最初は「そんなに怖くないのかな」と思っていたのですが、話を聞き続けているうちに原爆がすごく怖いということが分かりました。まず、原子爆弾投下都市に条件があるとは思いませんでした。候補になった都市と聞いて私は広島かなと思いましたが、京都と分かった時はびっくりしました。被害者の被害は手の皮膚がはがれたり、虫がいたり、顔や体が赤くはれたり、原爆先生の父さんが経験した事は本当に辛い事なんだという事が深く知りました。原爆が投下された時は、空気が膨張し、その中心の熱さは100万℃、そして外側は7000℃という事を知って太陽よりも熱いということが分かりました。そして、衝撃波の速さは音の速さよりも速く、毎秒470mととても速い、3分ほどのビデオを見た時、原爆が投下された時、一瞬のうちに人が黒かげの海になる様子を見ました。蒸発死などで命を失った人、また死者は14万人、被害者数は24万人もいるということが分かりました。一つの原爆にウランが60kgも入っていたのですが、たった1kgも燃焼しただけで一つの町が壊れ去ると知って原爆には手をつけようが出来ないということも分かりましたし、60kg(60倍)も燃焼したら、広島周辺の県も壊れ去ってしまうのではないかと思います。このような話を聞いて涙が出そうになりました。この日で沢山の人が亡くなりました。特別授業で教わった事はすぐに始めて耳にしました。そして命の尊さと知る事が出来、自分も自分の命を守るように、みんなの命も守れるようにしていきたい。広島や長崎の被災地など様子がかくわく分かる博物館などにも、行ってみたいし、この広島に原爆が投下した日、被害者の気持ちなども忘れずにしていきたいです。







名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、原爆をおとしたばくけき機、  
 広島に投下された原爆「リトルボイ」について  
 知りませんでした。中でもウランの数が1kgしか  
 ばくはつしなかつたのにたて物や家がほとんど、  
 粉々になっていたことです。昔の技術では、  
 这么多の物をいっぺんでこおすとは、難しいの  
 ではないかと思いましたが、けれどアメリカはほとん  
 だ思っていた以上に技術がはたかしていました。  
 しかも1kgのばくはつでほとんどの建物が  
 破かいされてしまいました。もし、60kgのウラン  
 すべてがばくはつしていると思うとこわいです。  
 今ではその1000倍の力をもち原爆があること知  
 らずにまよふを感じました。  
 今、かく兵器を使っている国ないかあります。  
 もしかく兵器を使て戦争が起きたら、また  
 原爆をおとされたりします。  
 絶対に戦争、かく兵器を使てはいけな  
 い。そのことを未来につなげていきたいです。

長友たつき



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、原爆先生の授業を受けて強く思ったことは、戦争を二度としてはいけないということです。戦争さえしなければ、広島、長崎で原爆が落とされずたくさんの死者、被爆者が出なかつたら家族や友人をなくして悲しむ人も減るので絶対に戦争をしてはいけないなと改めて思いました。また、原爆が太陽よりも熱いということにとってもおどろきました。「人は体中の水分が失われ炭化してしまつた」このことをきいて、今まで思っていたより、かなり原爆はこわいものなんだなと感じました。それから候補になつた都市が広島、長崎以外にも京都、新潟などもあつたことを初めて知りました。京都に原爆が落とされなかつた理由が後日、せんりょうしやすくなるためときき、ひどい話だと思つていました。今回の授業で、戦争をすると何も知らない子供や動物たちもふくめたたくさんの命が失われるので、戦争をしないようにできるだけ多くの方が理解することが

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)

大七だ」と思つていました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、今日の話聞いて、戦争がどれだけひどいものか  
 のかがわかった。特に、印象に残ったのは、池田義三さん  
 が実際に語っていた映像。本当は、戦争のときのことなん  
 が思い出したくもないと思うけれど、私たちのため、戦争  
 というものがどれだけひどいかを後の世代にも伝える  
 ために、語ってくれていた映像が私の心に"クッ"ときた。  
 話も聞いたとき、もし、これから戦争がおこると思うと、巾着  
 して、仕方がなかった。なぜかと言うと、あんなにいたい思いをす  
 るのはいおたし、死んだら、たぶんたちや、性別も命からないくらい  
 真っ黒になっている人を見るのもいおたから。どんなにいおでも、  
 戦争はおこってしまった。じゃあ、なんで、戦争をおこすのか、とて  
 もき間に思った。同じ人間どろしたなのに、なぜ、たくさんの人をき  
 せいにしても、戦争をおこすのか不思議に思った。

私は、今日の話聞くまでも、戦争の話をたくさん聞いて、「ひ  
 どいな」と思ってきたけれど、今日聞いた話が、一番ひどいな  
 と思ったし、前よりも、戦争のひどいことや、話がどんな様子だっ  
 たのかなど、色々な事を話の中で想像していた。私は戦争の事  
 をもっと知りたいと思ったので、原爆ドームを実際に見に行ったり、  
 原爆資料館??にも行ってみたいと思った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、最初、原爆ドームのことをあまり知らなかったけど、池田さんの話を聞いてみて、大変だったことが分かりました。原爆ではかいされた、広島市では、長さ3.12m、重さ約4tのリトルボーイを投下した。リトルボーイは、高さ9632m、場所から、約4km遠くはなれた所から、落して、びっくりしました。そして、広島市の人口は、35万人でそのうちの被爆者数は、24万人で死者数が、14万人で、2万人の人がいっしょんで亡くなって、とても、つらい思いをしたんだなと感じました。だけど少人は、原爆ドーム(元広島県産業奨励館)の土下のトイレに、にげていて、奇跡が起ったのは、すごいなと思いました。もし、にげられなからたら、死者数が、増えていたので、悲しくなりました。なるべく、1人でも多く助けたいという気持ちがありました。私は、原子爆弾を、あまり怖くはしくなれないなと思いました。1人1人の命があり、何万人が亡くなってしまい、日本の人数が減ってしまうのは、嫌だからです。なので、これからも人の命を大切に、つらいことをなくし、平和になってほしいと思



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業をうけて

ぼくは、社会で毎日日本が原爆をうけたことは、してたけど特別授業をうけてぼくはたひなことがあったんじゃないかと思っていました。

先生の父さんのたいけんはことごとく一番はうけをうけたのは、いちはさんといごのぼくのイトムボーイがおどろきました。

たまたまからあん度が中か100万Cでそとかでも7000Cのおん度で太陽より1000Cも多いうからほんとに太陽よりスにあつすぎいいと思いました。

もかっおどろいたことかあります

それは、人がはりになってからあつうでばらばらになんてすごいなと思おと原爆してもおもしろい。

おもしろいこともあつきました。ぼくは、かくいさなとあつてほしく

たまたまと思ひました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業をうけてからは、  
社会の授業や「はだしのゲン」を読んで  
原子爆弾がおちて、かなりひどいじょうきょう  
になったことはしていましたが、自分が思っ  
ていた以上にひどいじょうきょうになってい  
てあらためて原子爆弾のおそろしさを知  
りました。この原子爆弾で広島をいっしょん  
にしてきょうふのどんそこにおとし爆りい地  
はいっしょんにしてとけなくなり7000°にたっして  
中心分は、100万°にもなりその真下の地面は、  
3000°になり下にいた人たちは、体中の水がいっしょ  
んにしてなくなり灰になったほどのおそろしい  
兵器を人間が作りだせるとは、びっくりしま  
した。しかも原子爆弾は火薬ではなくウラン  
がばくはつして広島をここまでおいこんだのに  
そのウランは $\frac{1}{60}$ kgしかばくはつしていなかつたから  
すべてばくはつしていたらどうなっていたかと思つておそ  
ろしいです。もう二度とこのようなことがないように  
平和なよのなかにしつきたいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

最初に話してもらった、小説の一部で、マイクと息を上手く利用して、本物の風のような音を出していたり、しゃべり方、また表現のしかたを工夫していたので、国語の音読や、歌でも使えるなあと思いました。とくに、原爆がおちるとき、間を開けて、「でっかッ」と言っていたので、とても「びくっ」とおどろきました！

そして、とても池田義三にならまわっていて、その原爆おちのときの様子が想像しやすく、原爆の時の悲惨さがわかりとてもうる。とする話で、実在にあったと哭くと、「ぞくっ」という気持ちがありました。とくにけがの、物など、肉が見える、皮膚がはがれるなどの所では、かたじけなく「ぞくっ」としました。そのくらい原爆がおそろしいものだ、と実感あることができました。

また原爆によって、生き物などが「ガ」いっしょんで「死んで」しまうと聞いたときには、本当にこわくて、今、こうやって生きているのが、とても幸せなんだと、改めて実感あることができました！



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

社会の授業でも少し話をしてもういしました。今日はもっという人な事が知れました。5人に1人が亡くなった原子力爆弾いわゆる原爆は、人々の心を変え人々を苦しめたものでもある原爆の話をふり返っていきまう思いもよらぬことだったでしょう。1kgしか無い爆はつする材料で、広島市全体をおおいがぶせれるくらいのカガがあるわで禁院なものだと思いまうこの機械にお金をかけてまて人々を苦しめることがゆるせなうと思いまう。今でも原爆の被害で苦しんでいる人がいる中で人々の心が変わりました。これからの未来や将来はまだわかりませんがこの原爆で学んだ事は後の世代にも受けつがれて行くといいです。でもうまくいかなうことだっています。だとしても原爆に被害を受けた身にもなうて、全体この原爆が落ちて人々が苦しんだというのを忘れずにいてほしいと思いまう。







名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

社会科の授業で、原爆のことを習、たけれど、今回のようにくわしく話してもらってはいなかったから、とても勉強になりました。体じゅうがやけどになってしまうのは、とても痛くてつらかっただろうな、と先生の話を聞いていて思いました。手をとってひっぱ、てあげようとする、皮がとれてしま、て相手は痛がりながらすべり落ちるという話をしていたときは、それが想像できてしま、て、被爆者がかわいそうになりました。アメリカの人たちはどうして、日本に原子爆弾を2発も落としたのか、とても気になります。罪がないおおぜいの人の命を消すなんて、とてもひどいと思、いました。生き残った人も、とても苦しむ羽目にな、つらかっただろうなと思、いました。これからは、人の命は一つ一つ大事にしていくという考え方を、もっていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆先生の授業を受けて、心に残ったことは、  
 被爆を受けた人たちの話しです。助けようとしたら、  
 ひろが、とれて、すべってこれがおちてしまうとい  
 うことです。私はこの話を聞いているとき、と  
 てもソワソワしていました。しかしこれが今まで、現実に  
 あったんだと思うと、とてもとても信じられませんでした。  
 した。あと義三さんは、九日間も苦しい思いを  
 しながら死体を焼いたのはとても非参だと思  
 いました。私はもしこんなことがあったら、義三さん  
 みたいに、動くことも考えることも時間がかかると  
 思います。義三さんは、軍たいの命れいたがからできたとい  
 っていたけれど、それでも勇気のいることだと思  
 いました。死体を背中におぶって、顔が横にあるのは、  
 とてもおそろしいことだと思  
 いました。けどやがたなけりかな  
 らないの、痛々しい思いをしたと思  
 います。それをずっと続  
 けていたので、そのおそろしさになれてしまったとい  
 うことがとてもおそろしかったです。人間というものは、悪  
 い気持ちを持ってしまふときもあるのでとても考えずら  
 かったです。このことをおして、戦争や争いは本当によくないと思  
 いました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生<sup>じゅこう</sup>の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受けて、原爆当時の様子かくかくしく調えました。原爆が落とされた当時は、私では想像ができてなくて池田先生からそのころの情きょうや、池田先生のお父さんの気持ちなどこの授業を通してよく知れました。私は原爆先生の授業を受けるまで原爆のことを少しは知っていましたがあまりよく知りませんでした。でもくわしく知るととても残酷で、でもその話を聞いていて池田先生のお父さんは勇気があるなと思ったのと、軍のめいれたとしても、生きている人々のために必死に動ごこうとしていてすごいなと思いました。私だったら他人より自分が生きるのに必死になってしまうかもしれないから私は、池田先生のお父さんは、勇気があってすごい人だなと思いました。私は今日ならった原爆先生の特別授業で教えてもらったこと、学んだことをこれからの中学校生活などで生かしていきたいです。そして今ある自分たちの命を大切にしていきたいです。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受講して改めて原爆  
ってこわいぞしておそろしいことを実感しました。  
先生の授業の中でも2つ勉強になった事  
があります。1つ目は原子爆弾投下の場所を決め  
る条件があったということです。私は原子爆弾が  
1回目は広島、2回目は長崎に投下された時「なんで  
広島、長崎に投下されたのだろう」と不思議に  
思っていたのですがしっかりと条件があるとい  
うことを知りました。条件が合った都市は6<sup>(市)</sup>あり  
広島、長崎に続き小倉、横浜、新潟、そして京都まで。  
とくに京都は山にかこまれた所にあるとい  
うことです。すめられていたが人間にとっての文化財  
があるため京都ではなくなったという所も初  
めて知りました。2つ目は原爆の被害が  
大きく分けて3つあったということです。その中  
で衝撃波の速さが毎秒40秒と音速よりも  
はるかに早いと知ったのでとても勉強になりま  
した。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日、池田眞徳先生の話を聞いて、とても戦争はこわいものだと思わためて感じました。太陽の表面温度は $6000^{\circ}\text{C}$ に対して、原爆が投下された所は $7000^{\circ}\text{C}$ で、 $100^{\circ}\text{C}$ でも熱いのには $7000^{\circ}\text{C}$ と言ったら想像もできません。1945年 8月6日 8時15分に広島に原子爆弾がおとされていて、その5日後の1945年 11時 8月11日にたまたまかけるように長崎に爆弾がおとされていて、アメリカは、とてもひどいと思いました。アメリカは飛行機に60kgのアランをつめこみ、その内の1kgしか爆発しなかったけれど、広島全体が被害にあり、アランは、とてもすごい爆薬だなと思いました。衝撃波は音速340m/秒なのに毎秒440mすすんでいて、1秒で100mの差がひろくので、とてもすごいと思いました。最後に池田眞徳さんの父、池義三のビデオを見て「そんな生き物ではない」と言っていて、本当にこわかったのだと思いました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆のごしかりました。例えば、原子爆弾投下都市条件は、①直径5kmを超えること、②都市が山間部ではなく平野であること、③この都市では空襲(原子爆弾を投下されてくる)がなかったことという3つの条件です。最も最初に候補となった都市は、京都市だが、京都市は文化財が多く、文化財を、原子爆弾でこぼれたんなかったのび、アメリカは、最初の候補を、京都から広島へ変え、広島を目的地としました。よいラジオソングとい機構のごしかりました。ラジオソングは風をはかたりびることを分かりました。この原子爆弾は、上空600mからアメリカの目的地、広島市の相生橋に向けて投下された。1回目の衝撃波は、爆け器が、投下され、爆発された時の衝撃波で、2回目はその1回目の時の衝撃波が、地面にはか返った時の衝撃波です。







じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私はまず原爆ドームに行った事があり、資料館にも行った事がありました。そのあつたため、被害にあつた人たちの事や、投下された原爆のリトルボーイの事や、他にも知らなかつた事を2時間ごたくさん教えてもらったと思います。でも、知れば知るほど、その時に被害にあつた人たちの悔しさや辛さなどが感じられて涙がでそうになります。池田義三のビデオを見た時に、ホムは自分たちには味わつてない痛みや苦しみがあつて、その人たちにしがわからなかつた辛さがあると思つました。ひる、がはがれたリ血だらけになつたり、一瞬の出来事なのに、たくさんの人々をくるませしてしまう原爆がすごく怖くなつてました。でもいまこうして学校に行けて友達と笑い合つているのがとてもありがたい事なので、とあつたため実感できました。これからの未来もこの原爆の事を忘れず過去に苦しんでなくなつてしまつた人たちの分まで背負つて生きていくと思つて、これから一瞬一瞬を大切に生きていく



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

今日の授業は、すごくびっくりする事がたくさんあって、すごく勉強になりました。「リトルボーイ」という原爆の重さがなんと、4セもあり、長さ、3.12 mの物が空から降ってきて、そして、ばくはつする。考えただけでも、怖くて、ふるえてしまうくらいなのに、それを体験した人がいて、死者も出ていて、あらためて、原爆のおそろしさを、知りました。原子爆弾がばくはつした時の地上の温度は、3000°だそうです。100°でも、ヤけどをやるくらい熱いのに、3000°の熱が体に当たるなんて、考えられません。でも、原爆先生の話を聞き、3000°の熱が人間をどのようにしてしまうのか、おもしろいと思いました。本当に少しの間で、人間の体がとけ、反になりに消えてしまう、そんなおそろしい事が起っていたなんて、知りませんでした。原爆があつた時の記事などを保管してある所の写真の中で、ヤけどをおいた人の人形の写真がありました。私はその写真を見た時、あまりのひどさに、びっくりしましたが原爆先生のお父さんは、これでも、きれい、と言っていたそうなので本当に、本当に非情な女たつたんだと思いました。私達が勉強した事は、ほんの

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)

一部で、これから、もっと、原爆のおそろしさとか、怖さとかが、たくさんの人に、分かってもらえたらな、と思ってる。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

最初はともどもオムツをしていてどんなことがあ  
るのかわくわくしていった。

最初のビデオは少し怖かった。

戦争は全体ダメなコトがよく分かる。大人の人  
も原爆先生の授業を受けて戦争のコトをもっと学  
んでほしい人の命は簡単に亡くなる。けれど一つ  
一つの積み重ねで人の命は守られていくのだ  
と思う。

そして最後の映像では戦争がどれだけつらいか  
を経験したことがあるから涙があふれて、けれども  
がんばって戦争のことを話していったのが  
とてもよかった。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は小さい時に原爆ドームに行ったことがあります。しかしその時はなにがなんだがわかりませんでした。しかしそのことをして、わかりました。今私が行ったら、また、見方がちがうと思います。なぜなら、先生がおしえてくれたことが、とても心に残っているからです。そして、ゴルフボール一個分であれだけひがいを、あたえるとは、とてもおそろしいです。しかし、それは、まだ技術がなかったから、ゴルフボール一個分だったと、きいてびっくりしました。私は、このようなことが、一度もおこらないでほしいと思います。今では、リトルボーイの何陪もある、物がなんともあるときいて、びっくりとゆうおどろきと、きょうの半分半分です。今ミサイル問題がおきていますが、もうそのようなことをせず、世界の国々が平和で、仲の良い世の中になってほしいと、あかかじめ思いました。授業を受ける前と受けた後で、まったくちがう感想をもち、これからみんなにつたえていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕の母は福岡出身なので、長崎の原爆資料館に行った事があり、たまに展示されていた物についての話をしてくれるけれども、今回の特別授業の方が、体験談ということもあって臨場感があり、恐しさも伝わってきました。僕は被爆した方のその場での気持ちについては考えたことがなく、今日は共感することができて良かったと思いました。

《おどろいた事・悲しい事》

- ①アメリカがかなり後の事(占領など)を考えて京都ではなく広島にしたこと。
- ②ゴルフボールほどの小さなウランが街人を消滅させ、キノコ雲をつくり、川を沸とうさせたこと。
- ③今では人々を苦しめた②のような爆弾の、1000倍の威力を持つものもあると聞いたこと。

義三さんの原爆資料館での「きれいすぎる…」という言葉が



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、この特別授業を受けるまで、原爆の事はあまりくわしく知りませんでした。けれども今日、池田 貞徳先生(原爆先生)が父の池田 義三さんになって、体験した事を話して、原爆に関する物などの説明をしてくださったおかげで、だいが原爆について知れました。そして、原爆は人に悲しみや、まようか、などのおもいをさせるものだという事も、改めて実感しました。この原爆で14万人の人が亡くなっています。(5人に2人ぐらいの人数)私は、この原爆は体験していないけれどもとても悲しくて、こわいものだったのではないかと、思います。そして、原爆というものは、悲しく、つらく、こわいという事を後世に伝えていきたいです。ゴルフボールぐらいの大きさの「ウラン」で、原爆したのもおどろきました。ウランがもつとねんしょうしていたら...と思うとこわくて想像できません。もう、原爆が二度と起きないように自分たちができることを考えて、これからの日本をもっと良く支えて守っていかないと、いけない、と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、広島市の原爆ドームのそばにある、資料館に行  
た事があったので、知ったつもりでいたが、被  
爆者を助けたり、死体を片付ける人の気持ち  
が分かり、聞いている私の方までが、ぞっしま  
した。被爆者に手をさしのべても、こげた皮がむ  
けてしまったりして、助けあげることができない。その  
つらさと気持ち悪さは、苦しみになって、助けようと  
している人にも伝わる事が、分かりました。  
そして心に残った事は、アメリカが原子爆弾  
を落とす計画をたてる時、アメリカからしたら、  
京都に落とすべきだったものを、文化財を守るため  
に、中止した事です。戦争は絶対にやっては  
いけない事を新たに心から思いました。広島  
の原爆ドームは当時の人の叫び声を、さびしく  
残酷な様子で、今の世に、戦争はどんなに  
悪い事をうたえているのだと感じました。  
だから私は、世界が間違った方向に行きそう  
になった時今日学んだ事を世界に伝えられたら  
いいなと思います。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

/

原爆の恐怖さを本日は伝えて下さりありがと  
うございまして。広島では、原子爆弾のせいで、  
被爆率 70%。死亡率 40% と、  
とても多くの人を巻き込んでいることを知り  
ました。アメリカからすると原爆の計算は  
思い通りだ、ナ、ナ、と思います。そう思うと、  
日本には勝ち目 かながったこととイコール  
でつながっていると思うととても 二わく 二  
りました。また、日本を恐怖におとし入れた  
この爆弾はゴルフボール 1 個のこの  
小さい原子の力が 二まり 二よって あ 二った  
ことはとても 驚き、ねむれ 二なくなりまし  
た。また、NHK では映ぞうの世記という  
番組ではきの 二雲を放送して 二いて、それを  
見るとみるみる内に 二んどん 二んどん 二上から 二  
二き、人が 二逃げ 二た 二ている姿がありました。  
私は、今後 二の原爆の恐ろしさ  
を、様々な人に 二言 二継 二が 二せ 二忘れられ  
ない 二ように 二して 二いき 二た 二です。





じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1

ぼくは原爆先生の話をきいて先生のお父さんは  
 すごい人なんだなーと思いましたまずいき  
 なりすごい光がきてあついのにもがまんし  
 てカンにはいて命はたすからてそれでも  
 もらうまでにつらくてなにがあっている  
 かもわからずしあつしてもうかえりた  
 いとゆう思いがあつたのににけるわけには  
 いかなしからつぎのじをまって車ですんで  
 いったら人がもりにそつでひろがはがれ  
 たときいったらぼしはたえられませんでした  
 した衝撃波や放射線にもやられて  
 すごいつらかったと思いますぼくはつして町が  
 ほろびるぐらいまでやきかされたなんてい  
 じらねない話ではあるけどじさいたいけ人  
 いる人がいるからぼんていこあしてた  
 へんだったと思う今でもそうゆうことが  
 おきたらぼんたちの町はかいさあやうか  
 らきをつけたら、そして二度とそんなこと  
 ないたしな



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆の悲惨さや恐怖を教えてくださいました。

本や映画で見えるような原爆とは全然ちがく、それよりも、はるかに怖い物でした。

原子爆弾を落として、落ちた時の人間の姿を伝えてもらって、見て、聞けるだけでも「ぞっ...」とするような、感心でした。そして、原子爆弾を落とす場所の決め方も、意味が分からず、アメリカの考えを、よく分かりません...

火をもち上げると、かねが取れてしまう。

こすり合うだけで、はだか痛み、自分達の考えてるよりも、痛い物でしょう...

そう考えれば、今の日本は、どれだけ平和が、よく分かります。今後の日本は、戦争を絶対にせず、

原爆のような事が起こらないように日々にも、聞かせて、生きていきたいと思えます。

今日は、大層な体験をさせてもらい、ありがとうございました。

今後ともこのような時がありましたら、よろしくおねがいします。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくはこのじやうで、原爆のおそろしさを改めて  
実感しました。まづおびろきだったのがこのじやうをして  
いた、お父さんが本当にあって、そしてなにより、むきぎだっ  
たのがおびろいてきた。

話を聞いていると、想像するたびに、いかたはおかし  
い、ぐろい感じがわかってくる。

広島に、かんぱくがおとされる時のえいごうを見ていると、男の人  
がいつしゆんにして、きえてしまって、なにより、しょうけきはたいけい  
家がふきとび、破かいされた、かえりや、石などがあ  
って、おとされるそうなきい、こま、今まにもあせがごうな  
かんぱうかんで、そしてそれにたいきれず、自分の家の周りにある  
防火の水に入りそのまま足をかかえて死んでいった人がた  
くんと聞いて、かなしい気持ちや、いらいな気持ちが出てま

た。そして、原爆、「リトルボーイ」がぼくはつあるとき、太陽の熱より  
外の表面の熱があり、しかもゴルフボール1個分び、広島を破かい  
したとき、ひな1個の玉だけ破かいするとやうきふ、を知ら  
ない。最後に、津田義三の話しのおとに、原爆し  
りょうかんでわてネマの巻本を見てもまらぬきるとや  
一言をいつたときぼくは、そんな、皮がぬかれていたりして、

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)

おそろしいと思ひ、もう、こうゆうこと、二度とないよう  
に、していきたい。





じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/15

僕は今日の特別授業を受講して原爆の本当のおそろしさを実感しました。僕

僕は原爆異のことはだいたい知っていたつもりだったが僕の知っていたのはほんの少しでした。まんがの「はだしのゲン」などを読んで原爆のおそろしさはだいたい知りました。

けれど本当の原爆はとてとてもおそろしかと改めて知り度しては、いけないと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ほくは、7000°の少年の意味がよくわかりました。原子爆弾の中心は、1万その円のまわりは7000°その熱線が3000とありえない温度でひっくりしました。原子爆弾投下都市の条件があるのは、しりませんでした。①直径5kmを起えること、②都市であること③平野であること④空襲がなかった都市であること。このつがえたら原子爆弾が投下されるのがわかりました。原子爆弾のあたなカ「リトルボーイ」長さ3.12m重さ約47tでした。原子爆弾は、9632mの高さから時速300kmでおちていき地面から600mの戸介で爆発したのはひっくりしました。太陽が600m遠にあるのと同じでした。しにかく、してもしらないことがあったので言えをきいてよかったです。昔にこんなことがあった事わすれたくありません。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は今日の授業を受けて、初めて分かった事がたくさん  
ありました。アメリカがねらっていた県は広島と長崎だけ  
じゃなかったんだなと思いました。広島に投下された原爆  
がまさか約470もある横の長さが3.12mもある事も初め  
てでしたし、そんなに重かったんだなと思いました。リトルボーイ  
という名前の意味も分かってよかったです。原爆雲という雲  
のことも初めて知りました。キノコの形をしていてすごくおどろ  
きました。原爆ドームという名前になる前の名前が広島  
県産業奨励館という名前だったのもおどろきました。  
爆発したところの中心の部分が100万°もするとは思いま  
せんでした。その外がわが7000°という太ようよりも高い温  
度だった事もおどろきました。今日は本当にありがとうございました。  
いろいろな事が知れてよかったです。まさか原子  
爆弾投下都市の条件があるとは思いませんでした。  
直径5kmを超える事と平野である事と空しゅうが  
なかった事などいろいろな条件がある事が  
初めて分かりました。  
今後も来てくださる事がありましたら、よろしく  
おねがいします。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の授業をやってみて、国語の時間にも、広島原爆ドームについて、学びました。裸火暴者や、死者の人が多かったです。国語で学んだ事を思い出しなが、話を聞いていました。最初に池田先生が言っていた「7000℃の少年」というタイトルは、「どういう意味なのか。」という戸介にも注目し、聞いていました。そこで、最後にそのなぞが分かりました。(予想)ゴルフの球の大きさを、○←(丸い形の)の中に7000℃の熱線などが入っているそうです。その事から私達が予想するのは、○まるい球の形の中に7000℃の熱線が入っているから、た"と思いました。そして一番心に残った事は、広島県産業奨励館という名前が元の名前だ"そうです。そして、原爆とうかの候補のなった都市が(一番わがわがしていた所)京都だ"そうです。京都をどうかしようとしていた理由は、問ちがえなく実馬矢が出る!!という事です。けれども、どうかなかた"そうです。そのある理由とは...と考えると、た"さん思い浮かびました。その思い浮かんだ"物の中に答えがありました。それは京都には有名な、みすこ"があり、昔からある伝統的な物がた"さん残っているためだ"そうです。これからい"原爆があるかはわかりませんが

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)

今の私達に出る事、そして、今の私達とつながっているもの、大切にしたいです。





# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

最初は「7000℃の少年」と聞いた時は、<sup>体の温度</sup>7000℃の少年？意味分かんないな〜と思いつまんないな〜と思っていたけど、<sup>リトルボーイ</sup>原子爆弾の話になって、原爆先生が「ウーウーウー…<sup>ボン</sup>」と言った時めっちゃくちゃびくって、原子爆弾ってどんな物なのかな〜って思い真剣に話を聞いていると…やなことやって、人間の形をしてない人、そんな絶望から出てきた人の話しや、<sup>リトルボーイ</sup>原子爆弾の熱線・衝撃波・放射線のこと、原爆雲(キノコ)や死亡率の高さが1人に2人死ぬこと等…いろいろかなしいこと、の中、自分が生きていることはすごいことだなと思いました。これからも、心を大切にしていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、はじめに池田 義三さんが17才で陸軍に入ると聞き、とてもビックリしました。また子供のうちに大人の中にまじりながら、いっしょに単戈うなんて、もしも私に「お国のために」なんて言われても、出来ないと思います。それに、2班長の班長をやっていたなんて、とても勇気がいることだと思います。班長は、自分のほんたんで人を動かす。それは、周りの人の命にもかかわることだと思います。やはりすごいです。

～原子爆弾について～

↳ 原子爆弾投下都市の条件なんかがあるなんて、今までテレビなどで第二次世界大戦のことをやっているのを見た事ありますが、はじめて知りました。広島での原子爆弾は、ゴルフボールほどしかないウラン(1kg)をなげただけで、広島<sup>の</sup>街すべてがなくなると、はじめて知りました。ゴルフボールくらいの物ではなく、私は、もっと大きい原子爆弾を、または小さい原子爆弾を何個もおとしたのかと、思っていました。原子爆弾による2回の<sup>しょうげき</sup>衝撃波により、いっしょんの間に人がはいになってしまったり、知らなかつた事を、いはい知れました。

うら

～広島原爆後について～

↳ 体全身が真赤になっていて、手や足の皮がむけていて、池田さんにたすけを出した人の手を取ると、その手の皮がむけ、そうぞうしたたけでも、あ然としました。も、とビックリしたのは、亡くなった人をけの所に山のように積み上げ、その上に油をまき、人をもやしたことです。そんなこと、今ではやらないし、昔(70年前)もあまりやっていないと思います。今回は色々な事が知れて、人の大切さなどが分かりました。しかし、本当の苦しみは、戦争に行けた人にしか分からないと思います。なので、知らなかったことが知れてよかったです。

～疑問～

外国は、日本をせめたかったのなら、京都をやればよかったのに、なぜ京都を反対する人が出て来たのか？



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、<sup>最初</sup> 7000 G の少年ときいて、なんのこ  
 ころか、しびさ、思いました。でも、池田景徳  
 さんの話を聞いて、やっと「みか」わかりました。  
 私が、「ちばん心に残ったことは、亡くなった人の数  
 にあうもくしました。広島市人口、35万人  
 被爆者数、24万人、死者数、14万人、死亡率  
 40%、私はこの、言葉を、聞いて、なみだが  
 げそうにたれました。原子爆弾が、とうか、される  
 前は、ゆたかで、楽しかった、生活、なにも、いらない、に  
 ころされる。この2つを、広島や、「311」の所のこの2つを、  
 うばった、原子爆弾を、ゆるせませと、あと、もう一つ、  
 心に残ったことが、原子爆弾の、お、ふりて、体、ぜんた  
 「か」はれ、わけを、し、みか、の、って、いる、トラumaに、ひしに  
 ひしに、のうと、して、いる、すがた、を、思、い、う、か、べ、た、だけ、で、  
 なみだが、こぼれま、す、手、を、さ、し、の、べ、手、を、つ、な、じ、と、体、で、  
 んた、に、や、け、ど、を、し、て、い、る、人、の、かわ、か、は、は、れ、肉、が、み、え、  
 ても、ても、た、は、る、た、は、る、た、は、る、た、は、る、た、は、る、た、は、る、  
 あ、が、な、が、ら、ひ、し、に、し、か、み、つ、き、トラumaに、の、う、と、し、て、い、る  
 人、が、れ、が、私、に、は、と、て、も、う、ら、い、戦争、原子爆弾の

11さんこそもたらして11ます。

最後に、私たちが、次の時代に、つたえて11かな

11れが11けた11ことは、あの、ひさんな、も、ともつら11、

できごと、を、1日でも、わすれず、命の、大切さ、を、

もう、ぜ。た11に戦争は、からた11、と11う、こと、

戦争の、原子爆弾で、くるしめながら、亡くなられた人々、

11いかにして、消え、たくな、た人の、気持ち、を、もう、からた11

と11う、気持ち、を、この、気持ち、を、次の、世代、を、今の、次の、世代

を、なん年、も、なん十年、も、忘す、れ、ない、よう、命の、大切さ、

戦争の、ひさんさ、を、これから、つたえて、11ま、た11と

思、ひ、ま、した。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日原爆先生の授業を受けて一番身をついた  
 ことは、爆発した瞬間に体が灰になって  
 残ったのは黒いしみだけでその爆発の  
 中心が100万℃で外側が7000℃で土壌上に伝  
 わる熱は、3000℃~4000℃あることがわがり  
 ました。2つ目は熱系泉のことがです。  
 その交力は、金矢や人をとがす交力があります。  
 3つ目は、ENOLAGAYのことです。  
 そのENOLAGAYは、チレットたいさのお母  
 さんの名前と聞いたとき、チレットたいさは、  
 とてもお母さん思いなんだなと思いました。  
 原子爆弾投下の条件の1つ目の条件を知ると  
 いかにも簡単だけど2つ目の条件は平野で  
 あるおかげでそうかんたんにはそろわない  
 3つ目の空気がなかったことのもうそろわない  
 と投下できないとするととてもむずかしく  
 なるなと思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

原子爆弾が数えきれない命と、建物を、一瞬で、破壊されてしまったことは、日本でも、世界でも、核兵器を使った出来事は、二度と同じことをくり返さないということが、今後の未来への大切なことであり、戦争をなくすため、核兵器を減らすため、核兵器のおそろしさを知り、世界の核兵器をゼロにするための大切な出来事であり、一生忘れてはいけない出来事であると、改めて感じさせられる授業でした。

その中でも世界で初めて原子爆弾が投下された広島では、高温で、熱線、種子撃波、放射線、凄々しい爆風で、死亡率が40パーセントと、半分以下だが、人数だと、14万人で、とても多く感じ、かわいそうと思いました。だからこと、一生忘れずこのような出来事

があたと受け継いでいきたいです。

原山 夢叶